

市民農園の質問箱に対する回答

市民生活部農業振興課

農園名 北中沢 東道野辺 西佐津間

氏名 XXXXXXXXXX

質問日 令和 4年 7月 22日

質問内容

1. 栽培プランニングについて
 現在、3つの畝を作り、以下の野菜を栽培していますが、次にどのようなものを栽培するのが良いでしょうか。
 ・ 1畝：トマト、ナス 2畝：キュウリ、トウモロコシ 3畝：枝豆
 ①どの畝にどの様なものを栽培するのがお勧めでしょうか。
 ②現状の栽培物の終わらせ方とつぎの栽培物の立ち上げ方の対応方法を教えてください。

2. 各野菜の成長途中で行う「摘芯・受粉・わき芽かき、等々」のやり方、見分け方が写真等を見ても実物と比べると分かりずかったです。
 何か分かりやすい方法や参考資料があれば教えてください。

3. 枝豆の実が中々つきませんでした。飼料のやり方が悪いのか、何かアドバイスがあれば教えてください。

回答者 鎌ヶ谷市農業士等協会
 東葛飾農業事務所 改良普及課
 鎌ヶ谷市農業振興課

回答日 令和 4年 9月 8日

質問区分 栽培方法

回答内容

1. ①どの畝にどの様なものを栽培するのがお勧めでしょうか。
 ⇒プランニングは各人の好みになるので、食べたい野菜を中心に選びましょう。
 アブラナ科は連作障害が起きやすいのですが、現状栽培しているものにはアブラナ科はありませんので、秋冬は大根・小松菜・カブ・キャベツ・ブロッコリー等を植えてはどうでしょうか。春夏に比べ害虫も減ってきますので、小松菜・カブなど、比較的作りやすいものからチャレンジするのがお勧めです。アブラナ科の野菜は春に菜の花が取れますので、小松菜等収穫時期を逃して育ちすぎたら、春の菜の花が楽しめます。
 ほうれん草は土がちゃんとできていないと育たないのですが、逆言えば、ほうれん草がちゃんと育つということは土づくりがうまくできている証拠です。
 ネギや玉ねぎ、ソラマメやスナップエンドウ等の豆類、ジャガイモ等は年度を跨ぐ作物ですので、市民農園の利用開始1年目や2年目にチャレンジするようにお願いします。3年目満了時に抽選に漏れる場合があるためです。
 提案として、3つの畝で作っているとのことでしたので、一つは年度を跨ぐ（栽培期間が長いもの・ネギや玉ねぎなど）、残りの2つで①アブラナ科②ナス科（トマト・ナス・ピーマン）③豆類（枝豆・インゲン）④ウリ科やイネ科（キュウリやトウモロコシ）を回して作るようにすると、連作障害は起きにくいと思います。

②現状の栽培物の終わらせ方とつぎの栽培物の立ち上げ方の対応方法を教えてください。
 ⇒もうすでに片付けてしまったかと思いますが、それぞれの野菜について
 ・ トマト、キュウリ、ナス・・・木が疲れてきて、うどん粉病等の病気にやられたり、実がつかなくなってきたら、やめ時です。
 ・ トウモロコシ・枝豆・・・収穫したら終わり。

どちらも、木ごと抜き、土の中の根っこはある程度取り除き、堆肥・石灰・肥料等を入れて2週間程度あけ、次の作物を植えます（種まき前の手入れに準じる）。

2. 各野菜の成長途中で行う「摘芯・受粉・わき芽かき、等々」のやり方、見分け方が写真等を見ても実物と比べると分かりずらかったです。

何か分かりやすい方法や参考資料があれば教えてください。

⇒いろいろな本も出ていますし、インターネットでも調べると出てきます。

- ・本体の摘芯は必ずしも必要ありませんが、キュウリなどは子づるの摘芯をしないと小づるの成長に養分を使ってしまい収穫量が落ちてしまうため、子づるは葉を2枚残してその先をカットします。1枚目の葉の付け根にあるキュウリの雌花を育てて収穫します。

また、キュウリが生長して目の高さよりも上になっていったら本体の摘芯をすることで小づる・孫づるが育ち、収穫量が増えるようです。

- ・受粉は作物によって変わってきます。トマトは自家受粉ができないことを考えて、「トマトーン」等の植物ホルモン剤を使うのもよいでしょう。

- ・わき芽かきは、トマト・キュウリ・ナス等でやることが多いです。

トマトのわき芽はすぐに大きくなるので、こまめに摘み取りますが、一番上の新芽と間違えやすいので、上から順番に摘み取るようにします。一番上の新芽を残して、その下の段からわき芽を取って行くと間違いがないです。

キュウリのわき芽や雌花は下から7節までは早い段階で取り、本体の成長に栄養を集中させます。その先は摘芯の要領で管理し収穫していきます。

- ・そのほか、下の方の葉っぱは枯れてきたら早めに取り除き、全体の風通しをよくします。また、新しい葉の日当たりも良くなり、本体の持ちもよくなります。

市民農園では皆さん様々な野菜を作っていますが、同じ野菜を作っている人にコツを訊いてみてはいかがでしょうか。

3. 枝豆の実が中々つきませんでした。肥料のやり方が悪いのか、何かアドバイスがあれば教えてください。

⇒豆類の場合、肥料（チッソ）の与えすぎは葉や莖が生長するだけ（いわゆる、つるばけ）になります。葉が黄色くなる場合は、逆にチッソ不足です。

豆類には根に根粒菌（こんりゅうきん）が根にあり、空気中の窒素を作物が吸収できる形に変える（窒素を固定化するという）ので、チッソは少なくとも良いので、リン酸とカリを中心に施肥するようにします。

また、枝豆は生育段階で日光と水をたくさん必要とします。また、花の時期に水が不足すると実がつかないようです。今年からは梅雨で雨が少なかったため、朝や夕方もしっかり水やりする必要がありました。

あと、枝豆には早生・中生・晩生があり、種まきに適した時期があります。早生は4～5月、中生は5～6月、晩生は6～7月に種まきします。例えば、晩生品種を早生の時期に種まきすると、莖や葉ばかり育って実がつかないなど、時期を違えると実のつきが悪いようです。

カメムシ等の害虫が発生して実を吸われると、その後大きくならないなど、様々な要因があります。まずは土の準備をしっかり行い、種まきの時期を守って、水をたっぷり与え、害虫の駆除も行えば、美味しい枝豆ができると思います。

枝豆やトウモロコシは収穫してから鮮度が落ちていきますので、収穫したてをすぐに食べられる家庭菜園の美味しさは格別です。来年の作付けの参考になれば幸いです。